



令和元年度

コミュニティー☆スクールだより

高松中学校

校長 酒井 紀幸
学校CN 藤本 深帆

No.2

7月9日 1年生総合的学習の時間「ぶどう学習」

1年生84名が、南新町にある「喜多ぶどう園」に見学に行きました。お天気が心配されていましたが、出発時には雨も上がり、歩いて喜多ぶどう園さんへ。昔はこの辺り一帯がぶどう畑だったそうです。

さて、ぶどう畑に入り、喜多さんに美味しいぶどうの見分け方を教えていただき、ぶどうを1人1房摘みました。高松ぶどうは無農薬なので、洗わずにそのまま食べられます。早速みんなで頂きました。粒が大きくて、とても甘いです。「おいしい〜!!」と歓声があがっていました。

喜多さんが、糖度計でぶどうの糖度を測って下さいました。みんな、自分のぶどうの糖度を測ってもらい「19度、20度、20.5度……」とそれぞれ教えてもらいました。一番甘いぶどうは、22度もあり、お互いのぶどうを交換して味見をしました。

美味しいぶどうを頂いた後は、質問タイムです。いろいろな質問が出て、喜多さんや、JA石川かほくの櫻井さんが教えて下さいました。



学校に戻って、高松ぶどう組合、組合長の大田さんのお話を聞きました。

ぶどう農家の仕事は、2月頃から、とてつもなく忙しく日々が続き、本当にきつくて苦しい作業が続きますが、ぶどうが出来た時は、その苦しさを忘れるほどに嬉しい気持ちになるそうです。その気持ちは、きっとオリンピック選手と同じ気持ちだと思っていると話して下さいました。

もともと大田さんは、サラリーマンだったのですが、ご両親が営んでいたぶどう農家を継ぎました。若い頃には感じなかったが、今この歳になってみて、ここ高松の地で、ご夫婦で協力して元気にこの仕事を続けてこられて本当によかったと感じているそうです。

高松中学校の大先輩でもある大田さんは、『責任を果たせ』という校訓が大好きで、何かある時にはいつも思い出します。

そして、みんなにも、この校訓をしっかりと果たし、ぶどう農家に限らず、どんな仕事をする上でも、今後、中学校で頑張ったことが必ず役に立つので、さまざまな経験をして、いろいろな事を頑張って、大人になってほしいと励まして下さいました。





大田さん、櫻井さん、ご多忙のところ高松中学校に来て下さり、本当にありがとうございました。

喜多ぶどう園さん、美味しいぶどうをありがとうございました。